



講演する上村局長。緊迫する中東情勢について解説した

中東情勢をみる目をもつ

外務省中東アフリカ局長講演会

外務省中東アフリカ局の上村司局長を招き、12月18日、『『イスラム国』をみる視点』と題した講演会を総合福祉センターで開催。市民ら約130人が傾聴しました。

上村局長は、中東各地で起きている紛争の要因を宗教や言語、政治などの側面から説明。「争いが起きている原因を理解する視点をもつことが大事。問題解決の難しさの程度が分かるようになる」と述べました。

「イスラム国」については、「憧れを現実化しようとする過激な若者たちから、まともな大人を引き離し、強硬な人だけを叩き込むこと、国際社会がバックアップすることが解決の糸口になるのでは」と語りました。



森悠子さん、菅付章宏さんと作陽弦楽合奏団による演奏(写真上)
長瀬敏和さん、ティモシー・カーターさん、土居里江さんによる演奏(写真右)



澄んだ調べに酔いしれる

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学・総社市包括協定締結・第3回記念コンサート

くらしき作陽大学、作陽音楽短期大学と市が包括協定を締結したことを記念し、第3回記念コンサートが12月21日、市民会館で開催されました。

2部構成で行われたコンサート。第1部では、長瀬敏和さん(サクソフォン)、ティモシー・カーターさん(クラリネット)による管楽器独奏曲や、山下耕司さんによる委嘱作品「綾の舞い〜クラリネット、サクソフォンとピアノのために〜」を、土居里江さん(ピアノ)も加わった3人のアンサンブルで演奏しました。

第2部では、菅付章宏さん(オーボエ)と森悠子さん(ヴァイオリン)率いる作陽弦楽合奏団がオーボエ協奏曲、弦楽合奏曲「ホルベルク組曲」を披露。訪れた約700人の聴衆は、プロの奏でる素晴らしい調べに魅了されていました。

●ミニフォト

100歳おめでとう



市長に祝福される吉富さん

吉富多美子さん(小寺)が12月28日に満100歳の誕生日を迎えられ、市から記念品が贈られました。編み物やパッチワークなどの手芸や園芸が趣味だった吉富さん。長寿の秘訣は、趣味を楽しんで生きてきたことだそうです。

100歳おめでとう



家族に祝福される中原さん

中原トミエさん(久代)が1月9日に満100歳の誕生日を迎えられ、13日に市から記念品が贈られました。和裁が趣味だった中原さん。長寿の秘訣は、自分で料理を作り、健康に気を付けてきたことだそうです。

善意ある行動を表彰



表彰された総社東中の生徒

県のわかば賞の伝達式が1月7日、総社東中学校で行われました。同中1年生の蒲生直哉さんと原駿介さん、同中の吹奏楽部が受賞。蒲生さんと原さんは高齢者の救助が、吹奏楽部は演奏を通じた地域貢献活動が評価されました。

イルミネーションとライブでほっこり

SOJAイルミネーション2014・こたつ100個ライブ・歩行者天国 冬の夜を彩る「SOJAイルミネーション2014」が12月1日から24日まで、総社駅前から国道429号の間の市役所通りで行われ、総社のまちを明るく元気に照らしました。

また、12月20日には、「こたつ100個ライブ」と「歩行者天国」が市役所駐車場と周辺道路で開催されました。こたつ100個が並んだライブ会場には約800人が来場。家族や友人とこたつで囲みながら、バンドや管楽器などの演奏でクリスマスの雰囲気を楽しんでいました。



駅前を彩るイルミネーション

カメラ フォトニュース まちの話題



屋台の温かい食べ物で人気を集めた



ヨーヨーすくいを楽しむ子ども



ライブのフィナーレで「花は咲く」を合唱



こたつで温まりながら、ライブで盛り上がる観客

新たな1年のスタート



福山山頂からご来光を眺める

毎年恒例の元旦福山登山が、1月1日に行われました。ご来光を拝もうと約1000人が登頂。時折雪が舞うなか、初日の出に合わせて万歳三唱をしたり、振る舞われた甘酒で体を温めたりして新年の幕開けを祝っていました。

大人としての自覚と決意



「和音」が式のテーマ

成人記念式が1月11日、市民会館で行われ、714人が大人の仲間入りを果たしました。式典の第1部では、恩師からのビデオレターの上映などが行われ、昔を懐かしむとともに、大人としての自覚と決意を新たにしていました。

温かい歌声を届ける



「群青」を合唱

総社ジュニアコーラスの第28回定期演奏会が12月21日、山手公民館で開催されました。「アナと雪の女王」など16曲を合唱。ミュージカル「ユタと不思議な仲間たち」の上演も行われ、訪れた約200人を楽しませていました。